



勤行要典

妙法蓮華經。方便品第二。

爾時世尊。從三昧安詳而起。告舍利弗。
諸佛智慧甚深無量。其智慧門難解難
入。一切聲聞辟支佛所不能知。所以者
何。佛曾親近百千萬億無數諸佛。盡行

諸佛無量道法。勇猛精進。名稱普聞。
成就甚深。未曾有法。隨宜所說。意趣難
解。舍利弗。吾從成佛已來。種種因緣。
種種譬喻。廣演言教。無數方便。引導衆
生。令離諸著。所以者何。如來方便。知見

波羅蜜。皆已具足。舍利弗。如來知見。
廣大深遠。無量無礙。力無所畏。禪定解。
脫。三昧深入無際。成就一切。未曾有法。
舍利弗。如來能種種分別。巧說諸法。言。
辭柔輒。悅可衆心。舍利弗。取要言之。無。

量無邊。未曾有法。佛悉成就。止舍利弗。
不須復說。所以者何。佛所成就。第一希。
有。難解之法。唯佛與佛。乃能究盡。諸法。
實相。所謂諸法。如是相。如是性。如是體。
如是力。如是作。如是因。如是緣。如是果。

如に是よ報ぜ。如に是よ本ほん末まつ究く竟きよう等とう。

（「所謂諸法」からは三回繰り返して読む）

妙みよう法ほう蓮れん華げ經きよう。如に來らい壽じゆ量りよう品ほん。第だい十じゅう六ろく。

爾に時じ佛ぶつ告ごう。諸しよ菩ぼ薩さつ及ぎやう。一いつ切さい大だい衆しゆ。諸しよ善ぜん男なん

子し。汝に等とう當とう信しん解げ。如に來らい誠じやう諦たい之し語ご。復ふ告ごう大

衆しゆ。汝に等とう當とう信しん解げ。如に來らい誠じやう諦たい之し語ご。又う復ふ告ごう。

諸しよ大だい衆しゆ。汝に等とう當とう信しん解げ。如に來らい誠じやう諦たい之し語ご。是ぜ

時菩薩大衆。彌勒爲首。合掌白佛言。世尊。唯願說之。我等當信受佛語。如是三白已。復言。唯願說之。我等當信受佛語。爾時世尊。知諸菩薩。三請不止。而告之言。汝等諦聽。如來祕密神通之力。一切

世間。天人及阿脩羅。皆謂今釋迦牟尼佛。出釋氏宮。去伽耶城不遠。座於道場。得阿耨多羅三藐三菩提。然善男子。我實成佛已來。無量無邊百千萬億那由他劫。譬如五百千萬億那由他阿僧祇。

三千大千世界。假使有人。抹爲微塵。過於東方五百千萬億那由他阿僧祇國。乃下一塵。如是東行。盡是微塵。諸善男子。於意云何。是諸世界可得思惟校計。知其數不。彌勒菩薩等俱白佛言。世尊。

是諸世界。無量無邊。非算數所知。亦非心力所及。一切聲聞辟支佛。以無漏智。不能思惟。知其限數。我等住阿惟越致地。於是事中。亦所不達世尊。如是諸世界。無量無邊。爾時佛告大菩薩衆。諸善

男子。今當分明。宣語汝等。是諸世界。若
著微塵。及不著者。盡以爲塵。一塵一劫。
我成佛已來。復過於此。百千萬億。那由
他。阿僧祇劫。自從是來。我常在此。娑婆
世界。說法教化。亦於餘處。百千萬億。那

由他。阿僧祇國。導利衆生。諸善男子。於
是中間。我說燃燈佛等。又復言其。入於
涅槃。如是皆以。方便分別。諸善男子。若
有衆生。來至我所。我以佛眼。觀其信等。
諸根利鈍。隨所應度。處處自說。名字不

同。年紀大小。亦復現言。當入涅槃。又以
種種方便。說微妙法。能令衆生發歡喜
心。諸善男子。如來見諸衆生。樂於小法。
德薄垢重者。爲是人說。我少出家。得阿
耨多羅三藐三菩提。然我實成佛已來。

久遠若斯。但以方便。教化衆生。令入佛
道。作如是說。諸善男子。如來所演經典。
皆爲度脫衆生。或說己身。或說佗身。或
示己身。或示佗身。或示己事。或示佗事。
諸所言說。皆實不虛。所以者何。如來如

實知見。三界之相。無有生死。若退若出。
亦無在世。及滅度者。非實非虛。非如非
異。不如三界。見於三界。如斯之事。如來
明見。無有錯謬。以諸衆生。有種種性。種
種欲。種種行。種種憶想。分別故。欲令生

諸善根。以若干因緣。譬喻言辭。種種說
法。所作佛事。未曾暫廢。如是我成佛已
來。甚大久遠。壽命無量。阿僧祇劫。常住
不滅。諸善男子。我本行菩薩道。所成壽
命。今猶未盡。復倍上數。然今非實滅度。

而に便べん唱しょう言ごん。當とう取しゅ滅めつ度ど。如に來らい以い是ぜ方ほう便べん。教きょう
化け衆しゅ生じよう。所しよ以い者しゃ何が。若にや佛く久じゆう住お於せ世はく。薄とく德とく
之し人にん。不ふ種しゅ善ぜん根こん。貧びん窮ぐ下げ賤せん。貪とん著じやく五ご欲よく。入にゆう
於お憶おく想そう。妄もう見けん網もう中ちゆう。若にや見けん如に來らい。常じよう在ざい不ふ滅めつ。
便べん起き憍きよう恣し。而に懷え厭えん怠だい。不ふ能のう生しよう於お難なん遭ぞう之し。

想そう。恭く敬ぎよう之し心しん。是ぜ故こ如に來らい。以い方ほう便べん說せつ。比び丘く
當とう知ち。諸しよ佛ぶつ出しゅつ世せ。難なん可か值ち遇ぐ。所しよ以い者しゃ何が。諸しよ
薄はく德とく人にん。過か無む量りよう。百ひやく千せん萬まん億いつ劫こつ。或わく有う見けん佛ぶつ。
或わく不ふ見けん者しゃ。以い此し事じ故こ。我が作さ是ぜ言ごん。諸しよ比び丘く。
如に來らい難なん可か得とつ見けん。斯し衆しゅ生じよう等とう。聞もん如に是ぜ語ご。必ひつ

當生於難遭之想。心懷戀慕。渴仰於佛。
便種善根。是故如來。雖不實滅。而言滅
度。又善男子。諸佛如來。法皆如是。爲度
衆生。皆實不虛。譬如良醫。智慧聰達。明
練方藥。善治衆病。其人多諸子息。若十

二十。乃至百數。以有事緣。遠至餘國。諸
子於後。飲佗毒藥。藥發悶亂。宛轉于地。
是時其父。還來歸家。諸子飲毒。或失本
心。或不失者。遙見其父。皆大歡喜。拜跪
問訊。善安穩歸。我等愚癡。誤服毒藥。願

見けん救療くりよう。更きよう賜し壽命じゆみよう。父ふ見けん子し等とう。苦惱く如のう是にやぜ。
依え諸經方しよきようぼう。求ぐ好藥こうやく艸そう。色香美味しきこうみ。皆み悉具かいしつぐ。
足そく。擣とう筴し和合わごう。與よ子し令服りようぶく。而に作さ是言ぜごん。此大しだい。
良藥ろうやく。色香美味しきこうみ。皆み悉具かいしつぐ。足そく。汝等にやとう可服かぶく。速そく。
除じよく苦惱くのう。無復むぶ衆患しゆげん。其諸子ごしよしちゆう中ふ。不失心者しつしんじや。

見けん此良藥しろうやく。色香俱好しきこうぐこう。卽便服之そくべんぶくし。病盡除びやうじんじよ。
愈ゆ餘失心者よしつしんじや。見けん其父ごぶ來らい。雖亦歡喜すいやくかんぎ問訊もんじん。
求ぐ索治病しゃくじびやう。然ねん與其藥よごやく。而に不肯服ふこうぶく。所以者しよいしや。
何が毒氣深入どっけじんにゆう。失本心しつほんしん故こ。於此好色香藥おしこうしきこうやく。
而謂不美にいふみ。父作是念ぶさぜねん。此子可愍ししかみん。爲毒所いどくしよ。

中^{ちゆう}心^{しん}皆顛倒^{かいてんどう}。雖^{すい}見^{けん}我^が喜^き。求^ぐ索^{しゃつ}救^{くり}療^{りよう}。如^に是^ぜ。
好^{こう}藥^{やく}。而^に不^ふ肯^{こう}服^{ぶく}。我^が今^{こん}當^{とう}設^{せつ}方^{ほう}便^{べん}。令^り服^{ふく}此^し。
藥^{やく}。卽^{そく}作^さ是^ぜ言^{ごん}。汝^に等^{とう}當^{とう}知^ち。我^が今^{こん}衰^{すい}老^{ろう}。死^し時^じ。
已^い至^し。是^ぜ好^{こう}良^{ろう}藥^{やく}。今^{こん}留^る在^{ざい}此^し。汝^に可^か取^{しゅ}服^{ぶく}。勿^{もつ}。
憂^つ不^ふ差^{さい}。作^さ是^ぜ教^{きよう}已^い。復^ふ至^{した}佗^{こく}國^{けん}。遣^し使^{げん}還^{ごう}告^ご。

汝^に父^ぶ已^い死^し。是^ぜ時^じ諸^{しよ}子^し。聞^{もん}父^ぶ背^{はい}喪^{そう}。心^{しん}大^{だい}憂^う。
惱^{のう}。而^に作^さ是^ぜ念^{ねん}。若^に父^ぶ在^{ざい}者^{しゃ}。慈^じ愍^{みん}我^が等^{とう}。能^{のう}見^{けん}。
救^く護^ご。今^{こん}者^{じゃ}捨^{しゃ}我^が。遠^{おん}喪^{そう}佗^{こく}國^{けん}。自^じ惟^{ゆい}孤^こ露^ろ。無^む。
復^ふ恃^じ怙^こ。常^{じよう}懷^え悲^ひ感^{かん}。心^{しん}遂^{ずい}醒^{しやう}悟^ご。乃^{ない}知^ち此^し藥^{やく}。
色^{しき}香^{かう}味^み美^み。卽^{そく}取^{しゅ}服^{ぶく}之^し。毒^{どく}病^{びやう}皆^{かい}愈^ゆ。其^ご父^ぶ聞^{もん}。

子。悉已得差。尋便來歸。咸使見之。諸善
男子。於意云何。頗有人能。說此良醫。虛
妄罪不也。世尊。佛言。我亦如是。成佛
已來。無量無邊。百千萬億。那由他。阿僧
祇劫。爲衆生故。以方便力。言當滅度。亦

無有能。如法說我。虛妄過者。爾時世尊。
欲重宣此義。而說偈言。

自我得佛來。所經諸劫數。無量百千萬。
億載阿僧祇。常說法教化。無數億衆生。
令入於佛道。爾來無量劫。爲度衆生故。

方便現涅槃。而實不滅度。常住此說法。
 我常住於此。以諸神通力。令顛倒衆生。
 雖近而不見。衆見我滅度。廣供養舍利。
 咸皆懷戀慕。而生渴仰心。衆生既信伏。
 質直意柔輒。一心欲見佛。不自惜身命。

時じ我が及ぎ衆しゆ僧そう。俱く出しゆ靈つ鷲り山やうじゆせん。我が時じ語ご衆しゆ生じよう。
 常じようざい在し此ふ不めつ滅めつ。以い方ほう便べん力りつ故こ。現げん有う滅めつ不ふ滅めつ。
 餘よ國こく有う衆しゆ生じよう。恭く敬ぎやう信しん樂ぎやう者しや。我が復ふ於お彼ひ中ちゆう。
 爲い說せつ無む上じよう法ほう。汝によ等とう不ふ聞もん此し。但たん謂に我が滅めつ度ど。
 我が見けん諸しよ衆しゆ生じよう。沒もつ在ざい於お苦く海かい。故こ不ふ爲い現げん身しん。

りようごしようかつごう
令其生渴仰。因いん其ご心しん戀慕れんぼ。乃ない出しゅつ爲い說せつ法ぽう。
じんずうりきによぜ
神通力如是。於お阿あ僧そう祇劫ぎこう。常じょう在ざい靈いり鷲りよう山じゆせん。
ぎゆうよしよじゆうしよ
及餘諸住處。衆生見劫盡。大だい火か所しよ燒しやう時じ。
がしどあんのん
我此土安穩。天てん人にん常じょう充じゆう滿まん。園おん林りん諸しよ堂どう閣かく。
しゆじゆほうしやうごん
種種寶莊嚴。寶樹多華果。衆生所遊樂。
ほうじゆたけか
しゆじやうしよゆうらく

しよてんぎやくてん
諸天擊天鼓。常じょう作さつ衆しゆ伎樂ぎがく。雨う曼まん陀だ羅ら華け。
さんぶつぎゆうだいしゆ
散佛及大衆。我が淨じやう土ど不ふ毀き。而に衆しゆ見けん燒しやう盡じん。
うふしよくのう
憂怖諸苦惱。如に是ぜ悉しつ充じゆう滿まん。是ぜ諸しよ罪ざい衆しゆ生じやう。
いあくごういんねん
以惡業因緣。過か阿あ僧そう祇劫ぎこう。不ふ聞もん三さん寶ぼう名みやう。
しようしゆくどく
諸有修功德。柔にゆう和わ質しち直じき者しや。則そつ皆かい見けん我が身しん。
にゆうわしちじきしや
柔和質直者。則皆見我身。

在此而說法。或時爲此衆。說佛壽無量。
久乃見佛者。爲說佛難值。我智力如是。
慧光照無量。壽命無數劫。久修業所得。
汝等有智者。勿於此生疑。當斷令永盡。
佛語實不虛。如醫善方便。爲治狂子故。

實在而言死。無能說虛妄。我亦爲世父。
救諸苦患者。爲凡夫顛倒。實在而言滅。
以常見我故。而生憍恣心。放逸著五欲。
墮於惡道中。我常知衆生。行道不行道。
隨應所可度。爲說種種法。每自作是念。

以^い何^が令^り衆^{よう}生^{しゅじよう}。得^{とく}入^{にゆう}無^む上^{じよう}道^{どう}。速^{そく}成^{じよう}就^{じゆ}佛^{ぶつ}身^{しん}。

朝夕の勤行と御観念文（夕は初座と四座を除きます）

初座 諸天供養（初座は鈴^{りん}を打ちません）

初めに御本尊に向かつて題目を三唱したのち、東に向かつて題目を三唱し、方便品・自我偈を誦し、引き題目（三回、以下同じ）。終わって題目三唱の後、次の内容を心の中で念じます。

諸^{しよ}天^{てん}善^{ぜん}神^{じん}の昼^{ちゆう}夜^やにわたる守^{しゅ}護^ごに感^{かん}謝^{しゃ}し、
威^い光^{こう}勢^{せい}力^{りき}・法^{ほう}味^み
倍^{ばい}増^{ぞう}のために。

と観念の後、題目三唱します。

二座 本尊供養

御本尊に向かい、鈴を打ち、方便品を誦誦し、鈴。寿量品の長行・自我偈・引き題目を唱え、鈴。題目三唱の後、次の内容を念じます。

一閻浮提総与、三大秘法の大御本尊に南無し奉り、報恩感謝申し上げます。

と観念の後、題目三唱します。

三座 三師供養

鈴を打ち、方便品を誦誦し、鈴。自我偈・引き題目を唱え、鈴。題目三唱の後、次の内容を念じます。

末法の御本仏・日蓮大聖人に南無し奉り、報恩感謝申し上げます。

と観念の後、題目三唱します。次に

本門弘通の大導師・日興上人に南無し奉り、報恩感謝申し上げます。

と観念の後、題目三唱します。次に

一閻浮提の御座主・日日上人に報恩感謝申し上げます。

と観念の後、題目三唱します。

四座 広宣流布祈念

鈴を打ち、方便品を誦し、鈴。自我偈・引き題目を唱え、鈴。題目三唱の後、次の内容を祈念します。

こうせんる ふだいがんじょうじゆ
広宣流布大願成就と、
そうかがつかいばんだい こうりゆう
創価学会万代の興隆を御祈念申し上
げます。

と祈念の後、題目三唱します。次に

かこ げんさい ほうぼうざいしやう
過去・現在の謗法罪障が消滅し、
げんとうにせ
現当二世にわたる願いが
じやうじゆ
成就しますよう御祈念申し上げます。
(具体的な祈念は、ここで行います)

と祈念の後、題目三唱します。

五座 歴代会長への報恩感謝および先祖回向

鈴を打ち、方便品を誦し、鈴。自我偈を誦し、鈴。題目を唱えた後、鈴。
題目三唱の後、次の内容を念じます。

そうかがつかいしやだい かいちやうまきぐちつねさぶろうせんせい
創価学会初代会長牧口常三郎先生、
にだいかいちやうと だじやうせいせんせい
二代會長戸田城聖先生
の死身弘法の御徳に報恩感謝申し上げます。

と観念の後、題目三唱します。

次に回向。回向の中で鈴を打ちます。

けせんぞだいだい かいいん ゆうじん せんぞだいだいしやうりやうついで
○○家先祖代々ならびに会員・友人の先祖代々諸精霊追
善供養のために。
(さらに他の回向がある場合は、ここで行います)

と回向の後、題目三唱します。次に

世界の平和と一切衆生の幸福のために。

と観念の後、鈴を打ち、題目三唱して終わります。